

# イベント情報

■第3回子どもチャリティーマーケット&カフェ  
10/26 (土) 13:30~16:00  
プラムジャム・KF まちかどホール

「駄菓子やくにちゃん」と「子供畑」に参加の子どもたちが、今年も福島の子どものためにチャリティーマーケットを開催。子どもたちの考えたジャガイモ料理やゲーム、アイロンビーズやガンダムプラモデルも販売。参加無料！是非遊びに来てね！

☎042-573-1023  
(くにたち地域コラボ)



■第24回くにたち兼松講堂音楽の森コンサート  
『ベートーヴェン/交響曲第7番  
ヴァイオリン協奏曲』

11/30 (土) 14:00 開演 (13:30 開場)  
一橋大学兼松講堂

指揮/沼尻 竜典  
独奏/戸田 弥生  
管弦楽/桐朋学園大学オーケストラ

前売券: S席 4,000円(指定)  
A席 3,000円(自由)  
学生券 1,500円(自由)  
\*当日券は各500円増し

チケット販売: 一橋大生協(西)/白十字  
芸小ホール/とれたの

主催: ボランティアチーム・如水コンサート企画



■日本語学習者によるスピーチの会  
「日本語で話しましょう」

11/9 (土) 13:00~16:00  
公民館地下ホール

公民館で日本語を学ぶ外国人たちによる日本語スピーチ。いろんな国の話や日本でのエピソードなど、楽しいスピーチがいっぱい。音楽バンド「曙光」によるバンド演奏も。

主催: KUNIFA 日本語サポート  
☎042-577-1575

■第三回手づくりクラフト展

11/2 (土) ~ 4 (月・祝)  
11:00~20:00  
ブックステーション門



木、竹、紙を素材とする  
実用性のある小物たち。  
木の優しさを感じられる  
スプーン、フォーク、  
ナイフ等展示。

主催: 木エクラフトひびき  
m42orionan@ezweb.ne.jp

■国立パワージャズ2013

12/21 (土) 14:30 開演 (14:00 開場)  
一橋大学兼松講堂

出演: ものんくる(第1部)  
板橋文夫 FIT+川崎哲郎(第2部)  
渋谷さ知らズオーケストラ(第3部)

前売券: 一般 3,800円/学生 2,000円  
当日券: 一般 4,300円/学生 2,500円

チケット販売: NO TRUNKS/国立楽器 国立店  
白十字/とれたの  
ローソン店内 Loppi (Lコード 33010)

主催: 国立ミュージックフェア実行委員会  
http://power-jazz.com

## ふじみなヒト×コト

小さなキャップから  
いくつもの笑顔が

近年、定着しつつあるペットボトルキャップの回収。プラムジャム前にも回収BOXを設置している。集めたキャップを引き取ってくれているのは、富士見台1丁目にある「福祉作業所 天成舎 NPO 法人 燦」さん。ここでは現在、約30人の障がいのある方が働いている。作業場を覗くと、大量のキャップを仕分けるみんなの表情はとても明るい。キャップ回収による収益の半分はNPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)に寄付され、ミャンマーやラオス、ブータンの子どもたちにワクチンが届けられる。「自分たちが働くことで、誰かの助けになっている。そのことをみんなが肌で感じている。働く意欲が違います」と施設長の小川晴美さん。JCVへの寄付は年間約60万円。さらに年一回、ミャンマーへ視察に訪れる。作業場のスタッフからも2名が同行する。「彼らが自分の目で、ワクチンを投与する現場や現地の子どもたちの笑顔を見て、感じる事が大切なんです」



ミャンマーでの風景。右は天成舎スタッフの間宮さん。

まちの作業所からミャンマーの子どもたちへ。小さなキャップから、笑顔のリレーが生まれている。

あなたの「まち活」応援します！



# プラムジャム通信 vol.2

- Cover Story 自転車から、まちを知る。人を知る。
- 自分も相手も大事にできるとイイネ！」連続講座
- 見つけた！インキュベーション
- イベント情報/ふじみなヒト×コト

発行: くにたち地域コラボ

### Cover Story

## 自転車から、まちを知る。人を知る。



人にやさしく、自転車も使いやすく、そのために車にちょっと我慢を

秋風が心地よいこの頃。自転車に乗ってまちを散策するには、ちょうどいい季節だ。思い思いのスピードで、風を感じながら走る——。大学通りやさくら通り、思えば、国立は自転車が似合うまちである。「南北4Km、東西2kmというコンパクトな国立市は平坦地が多く、自転車での移動がとても便利。小さなまちの中に何でも揃っている、利用者も多い」と話すのは、くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部の高田啓子さん。

「くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部」。その名のとおり、まちづくりをベースに生まれた倶楽部だ。プランナーとして他市の都市計画マスタープラン等に携わってきた高田さんは、議論ばかりで実現性の低い都市計画に疑問を感じていた。「市民レベルでなかなかアクションが起これない。ならば、自分たちでできることから始めよう」と。そうして周りを見渡すと、一番身近にあったのが自転車だった。「自転車を介して、まちを知る人を知るこつてあると思うから」小さい頃、自転車で走る初めての道、街並みにワクワクした。今日は行ったことのない、隣の中学校まで——。確かに、僕らも自転車でまちを知った。

2002年に有志で倶楽部設立。まず国立駅前の違法駐輪に目を向け、自分たちで駐輪場になりそうな場所を探して歩いた。名付けて「勝手に駐輪場探し」。「でも、単独のこの活動だけでは、『それでどうなるの?』というところに行き着いて」

そこで、商店会の協力を得て始めたのが、国立駅周辺での「歩道ひろびろデー」だ。自転車利用者にルールやマナーを呼び掛け、歩行者が歩道を安全に楽しく歩ける本来の状況を作ろうという取り組み。年1回、2011年まで続いたこの「歩道ひろびろデー」、ご存知の方も多いのではないだろうか。

2008年には「桜を歩いて楽しもう!」と呼びかけ、大学通りの自動車道の一部制限し、歩行者、自転車、公共交通を優先する交通実験を行った。警察との交渉は難航したが、粘り勝ち。市民レベルのできることが一つひとつつながり、大きな力となって実現した1日だった。「人にやさしく、自転車も使いやすく、そのために車にちょっと我慢してもらおう」それが、倶楽部が大切にしている想いだ。

(2面に続く)



(左) 2008年3月30日に実施された「桜を歩いて楽しもう!」。大学通りの片側1車線を制限し自転車レーンに。従来の自転車レーンは歩行フリーゾーンに。内側の車線は公共交通のみ通行可。(右) 歩道ひろびろデー。五商の女の子もボランティアに加わった。

## Coworking Space PLUM JAM



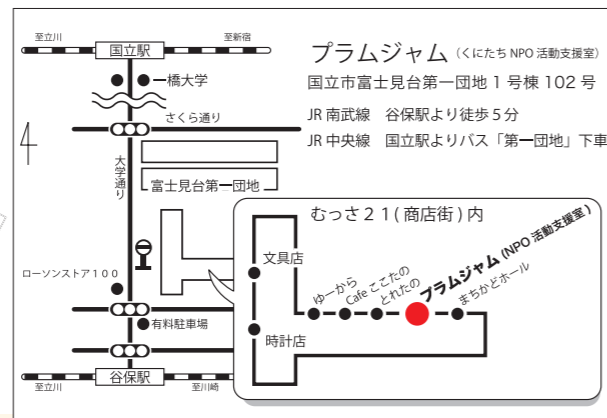
つどう。  
つながる。  
つくりだす。

商店街の一角に生まれた  
コワーキングスペース  
「プラムジャム」。  
打ち合わせや会議、教室、  
仕事場として、お気軽に  
ご利用ください(飲食可)。  
面白い人たちとの出会いから  
きっと何か生まれるはず。



- 【利用料金】  
1時間 100円 (利用登録 500円 別途)
- 【利用時間】  
13:00~17:00 (月・火・木・金)
- 【貸切利用】  
9:00~12:00 (月・火・木・金)  
18:00~20:00 (月・火・木・金)

お得な回数券もあります



ご入会  
いただきました!

### 2013年度の新規会員

(4月~9月入会)

#### 【正会員】

国立歩記事業部  
Musia  
ボランティアチーム・如水コンサート企画

#### 【利用会員】

Jasmine café  
マジック Rin  
Kankinote  
西川友子(声楽家)  
清水コンサート企画  
(株)カラス  
KIRAKU  
99roll  
コミュニティゴスペルクワイア Spirit of Soul  
新日本婦人の会 国立支部  
NPO法人おまかせハウスワーク

(他個人7名)

※登録順

プラムジャム通信 年4回発行

発行: くにたち地域コラボ

〒186-0003 国立市富士見台第一団地1号棟102号 TEL/FAX: 042-573-1023

編集: 造田覚 デザイン: ai

http://kunitachicollab.com/

E-mail: info@kunitachicollab.com



国立市の中間支援組織「くにたち地域コラボ」が運営および拠点とするコミュニティスペースです(正式名: くにたちNPO活動支援室)。国立市の花である梅(プラム)、ジャムセッション(即興演奏)のジャムが由来で、利用者同士がこの場で出会い、コラボレーションし、新しい活動や展開へとつながることをめざしています。

本号は2014年1月発行予定



# 「自分も相手も、大事にできるといいネ！」連続講座



～アサーティブネス・トレーニングをやってみよう～

職場や活動の現場で、あるいは家族や友人などの間で、会話はうまく通じていますか？  
意見がちがう、言葉が伝わらない…なんとかしたいですね。  
ヒントになるのが「アサーティブネス」という考え方。  
人間関係をよりよい方向へ、袋小路に陥っている状況の改善へ。  
ぜひこの機会に体験してみましょう。

講師 岩井美代子さん

(エンパワーYOUネットワーク代表。国立市西在住)

- 第1回 アサーティブネスの考え方を知ろう
- 第2回 自分の思いを言葉で伝える「わたしメッセージ」を試そう
- 第3回 自分も相手も大切にする「ほめ言葉」を使おう

日程 11月14日、21日、28日 毎週木曜日 計3回  
時間 19:00～21:00  
場所 KFまちかどホール 富士見台団地1号棟1階

定員 15名 (登録会員のみ。3回とも参加できる方)  
参加費 1800円 (@500円×3回+資料代300円)  
※初回にまとめてお支払いください。

くにたち  
地域コラボ  
主催



エンパワーYOUネットワーク  
<http://homepage3.nifty.com/empower-you-network/>

参加しめきり  
10月28日(月)  
※申し込みにはプラムジャム  
会員登録が必要です。

☆会員でない方も、この機会  
に「くにたち地域コラボ」への  
会員登録をいただければ参加可能です。  
詳細は「くにたち地域コラボ」までご連絡ください。

## Cover Story ～自転車から、まちを知る。人を知る。～

(1面から)

### トップダウンじゃないから、続けられる。

近年、健康や環境志向から自転車を利用する人が増えている。  
警視庁の調べによると、自転車対歩行者事故、さらにこどもの  
事故が増えているという。

「便利だけれど、危険な武器にもなり得る。事故に遭った方は  
もちろんですが、事故を起こした側もずっと傷が残る。こども  
なら尚更です」

自転車の楽しさ、危なさを実地で学ぶ「親子でりんりんツ  
アー」は、こうした背景から生まれた。  
『歩道ひろびろデー』をやっている、そもそも大人が正しい自  
転車のルールを知らないことに気づかされました。それではこ  
どもに教えられませんよね」

親子で走りながら学び、それをきちんとこどもたちや家族、  
友だちに伝えていく仲間づくり。「親子でりんりんツアー」は、  
この10月に4回実施する。

設立から10年余り、倶楽部の活動は少しずつ形を変えなが  
らも、まちとともに走ってきた。メンバーは20代から80代と  
幅広い。  
「ミーティングはもう激論ですよ(笑)。誰かが何か言うと、違  
う意見が横からガツンと出てくる。だけど、その後の飲み会では、  
みんな仲良くワイワイ(笑)」

そんな仲間に囲まれる高田さんの言葉に、ひとつのヒントが  
見えてくる。



「親子でりんりんツアー」では最初に乗方、止まり方をじっくり教える。  
通りでは、「どの場所が危険で、何に注意すればいいか」を実地で学ぶ。

「まちづくりは友だちづくり。自分だけで思い描いていても駄目。  
自分が『あれ?』と思うことを『ホントだね』と言ってくれる人  
が何人いるか。そうした中で思いがけない考え方や見方が生まれ  
て、穏やかに進めばいい」

社会情勢や政策の転換などで実現できないこともままある。  
「だけど、それでも粘れるのは、まちづくりはトップダウンじゃな  
いから。トップダウンじゃないから、胸に持っているものは、ずっと  
消えることがない」

(zoh)



ツアー終了後に  
もらえるステッカー。  
カッコいい!!

「くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部」  
部長：高田啓子  
問い合わせ：042-577-5147

見つけた!  
インキュベーション

## 暮らし、ツくる。 まちでがんばる学生たちが、国立に集結

NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション  
藤原 祥乃さん

### 「やりたい!」という想いから実現した 国立で初めての『地域リ・デザインシンポジウム』



中央で付箋を貼るのが藤原さん

「人をどう集め、つなげて、豊かにしていくか。みんなの抱える課題が見えてきて、  
もっと情報共有すべきだと」。工学系の大学が中心だった前回ほどどちらかといえば、  
都市計画、景観といったハード寄りの発表が多かった。そうした中で一橋大・KFは  
「人」をまん中にアレコレ考えるソフト路線。「文系の私たちがやればきっと意義が  
ある。次回はぜひ一橋大で、ここ国立で開催しよう!」。そんな藤原さんの呼びか  
けに地域の大人たちも賛同し、企画を盛り上げた。当日のワークショップから生ま  
れたいくつかのプロジェクトが現在進行中だ。

シンポジウムを終え、「私が『やりたい、やりたい!』と言っていたことに、い  
ろんな人が手を貸してくれて、本当に実現できたことが嬉しくて」と藤原さん。そ  
の顔にひとつの自信が窺える。現在、就職活動中。地元・香川を盛り上げてみたい  
とも思う。

「もう、何でもやりますよ!」。彼女のこれからは何だか楽しそうだ。



お問い合わせ  
メール: arearedesign2013@gmail.com

## 数のくにたち



### 公園協力会制度ってなに?

国立市内には大小合わせて**95**箇所の公園・広場がある。意外と多  
いと感じた方もいるかもしれない。たくさんの方が集まる大きな公園か  
ら住宅街にある小さな広場まで…「きれいな公園だけど、あの辺りに花  
があったらいいのに」「近所の広場をよく使うけれど、いっそ自分で手入  
れしてみたいな」と感じたことはないだろうか。

そんな方にご紹介したいのが「公園協力会制度」。公園・広場の維持管  
理を行う市民団体を市が支援する制度で、5人以上で会を組織すれば、  
ゴミ袋などが支給され、報償金も支払われる。現在**36**団体が**44**箇  
所の維持管理を行っており、公園や広場の美化・維持管理に大きく貢献し  
ている。しかし、大変多くの方が参加しているのがわかる一方で、まだ  
公園協力会ができていない公園・広場があることもわかる。興味のある  
方は国立市役所環境政策課花と緑と水の係まで。(花\*伸)



国立市にある公園・広場の数  
**95**カ所

**44**

**51**

公園協力会がある

公園協力会がない

●生活環境部 環境政策課 花と緑と水の係  
TEL: 042-576-2111 (内線 137,138) FAX: 042-576-0264  
メールでのお問い合わせは、市役所ホームページ専用フォームから。